

大洋州 6ヶ国から来日中の研修員 10 名が 帰国後のアクションプランを発表！！

国際協力機構(JICA)北陸支部は、一般財団法人日本国際協力センター(JICE)中部支所の協力の下、6月12日から6ヶ国(フィジー、キリバス、ナウル、パプアニューギニア、トンガ、バヌアツ)10名の研修員を招聘し、富山県内で青年研修*を実施しています。

今回来日している研修員は、各国関係省庁の職員や水産業振興の関係者等で、大洋州の資源管理型漁業分野において将来の活躍が期待される若手人材です。

研修期間中は東京都内において日本の水産資源管理の概要について学んだ後、6月18日から富山市を拠点に、氷見市、射水市、滑川市において定置網漁法や地元の水産物加工技術、養殖技術などについて学んできました。

6月25日(月)に今回日本で学んだ研修内容を基に、帰国後の活動計画を発表します。

☆日程:2018年6月25日(月)

場所:富山県農協会館 901 会議室

内容:アクションプラン発表 9時15分~12時30分

閉講式 14時45分~15時15分

当日の取材・報道方、よろしくお願いたします！！

これまでの研修日程・内容につきましては、添付資料をご覧ください。

なお、発表時間・実施場所は予定なく変更になる可能性がありますので、必ず事前にご連絡ください。

別添: 日程表

【本件に関する問い合わせ先】

(独) 国際協力機構北陸支部 (JICA北陸) 名村

TEL 076-233-5931 e-mail: Namura.Kinya.2@jica.go.jp

*開発途上国の青年層を対象に、それぞれの国で必要とされている分野における日本の経験、技術を理解する基礎的な研修を行い、将来の国づくりを担う人材の育成に協力する事業です。